

つたえ方をくふうしよう(2年) おもちゃ大会をひらこう

●指導目標

- 説明文を参考にして、おもちゃの作り方や遊び方がよく分かるように順序よく話す。
- 知らせたい事を選び、事柄の順序を考えながら話したり、大事な事を落とさないようにして興味を持って聞いたりする。 話す・聞く
- 事柄の順序を考えながら、語と語や文と文の続き方に注意して書く。 書く
- 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて話す。(言語)

●教材について

本教材は、時間的な順序や事柄の順序をふまえながら内容を読み取るための説明文教材『きつつき』を受けて、おもちゃ大会を開くためのおもちゃの作り方を紹介する活動と、おもちゃ大会をする活動からなっている学習であり、論理的な思考力を高め、的確に表現する力の育成をねらっている。そこで、本実践では、以下のことに留意し指導にあたることとする。

(1) 相手意識、目的意識の明確化

子どもたちの意欲を喚起し、実際に作り方や遊び方を教え合う活動を設定することによって、子どもたちは、相手にわかるように伝えたいという、相手や目的を意識した表現活動を行うことができる。そこで、活動をより明確にするために、第一段階として、自分でおもちゃを作り、教材文をもとに説明する活動を行う。その後第二段階として、生活科との関連を図り、「1年生におもちゃの作り方や遊び方を教えてあげよう」を課題として設定し、自分たちのおもちゃ作りを個々の教材として1年生に伝えることを目的としていく。相手が2年生の友達から1年生へと変わっていくことで言語能力をさらに高めることもとなる。最終的な紹介の相手が1年生であることから、説明しやすく、作りやすいおもちゃを選定することも必要となる。また、おもちゃ作りは、生活科や図工で行い、国語科の中では、話す聞く学習を中心とするが、最後には学習の総まとめとして説明の後1年生とおもちゃを作って遊ぶこととする。

(2) 言語活動の場の設定と一人一人の支援を高めるためのTT学習の活用

ここでは、活動をとおして一人一人の基本的な言語能力を高めたいと考える。そのため、一人一人に合った支援を行うように活動の場を設定するとともに、支援が確実な力へ結びつくようにTT学習を取り入れることとする。学習前半は、「2人一組」で行い、後半は、さらに工夫を取り入れて「グループ発表」とする。グループ内での練習ばかりでなく、ペアグループ(違うおもちゃどうしを組み合わせる)との練習を取り入れ、学び合う場も設定する。また、準備や練習、実際の説明の学習は、TT学習とし、児童個々の支援やグループの支援を効果的に行うものとする。

(3) 表現方法の工夫

教科書では、作り方を紙に書いて説明しているが、おもちゃによっては絵に表すことが困難なものも考えられるので、順序を表す言葉に気をつけて話しながら作っていくこと(実演)も可能である。また、1年生に紹介する際は、児童のこれまでの学習経験から、紙芝居や絵本形式、絵巻物、ポスター等も考えられる。いずれにしても、児童の意欲を大切に、順序を表す言葉に着目させながら学習を進めていくこととする。

(4) 説明のルールから評価の観点へ

自分のおもちゃの作り方を聞き手によくわかるように工夫して伝える力をつけるためには、「順序を表す言葉を使って教える」「丁寧な言葉遣い」「よく聞こえる声の大きさ」等、話すときのルールが必要である。これらを活動のめあてとして意識させ、児童の自己評価の観点にもつながらるように常に意識させながら学習を行うこととする。

● 学習指導計画（全 10 時間）

時	過 程	学 習 活 動	留意点，評価規準及び方法
第 1 時 第 2 時	課 題 見 を 通 つ し か を む も ・ つ	○おもちゃ大会の概要をとらえ，意欲を高め，学習計画を立てる。 ・作りたいおもちゃ，やってみたいこと，準備したいこと ○みんなに紹介するためのおもちゃとその説明の仕方を確認する。 ・教科書で説明の仕方を学ぶ。 ・2人で説明練習をする。	○わかりやすく教えることの必要性に気づかせ，表現の目あてをもたせる。 関：学習への意欲や目あてをノートに書こうとしている。（ノート） ○説明の仕方や順序を表す言葉の短冊カードを活用させる。 話聞：ぶんぶんごまの作り方を隣の友達に話している。（説明）
第 2 時 ・ 第 4 時 第 5 時 ・ 第 6 時 ・ 第 7 時 （本時）	情 報 収 集 ・ 表 現 の 工 夫	【おもちゃ作り】生活科・図工 ○おもちゃの作り方や遊び方をメモし，説明するための準備をする。《TT学習》 ・説明の時のルールを確認する。 1年生におもちゃの作り方・遊び方を教えてあげよう。 【おもちゃ作り】生活科・図工 ○グループで，1年生に紹介するための準備をする。《TT学習》 ○発表練習する。《TT学習》 ・ペアグループごとの練習 ・よかったよカード	○おもちゃ作りは，生活科・図工で行わせる。 ○各自のおもちゃの作り方を説明させ，互いにアドバイスし合わせる。 書：順序を意識して絵や言葉を書いている。（準備物） ○相手を1年生にし，再度課題を設定することで，学習をさらに深めさせる。 ○個々の興味関心ごとにグループを作らせる。 ○グループで表現方法を工夫させる。 書：順序を意識して絵や言葉を書いている。（準備物） ○TTで指導グループを分担する。 話聞：準備したものを使って，順序を工夫して話している。 （観察，相互評価表）
第 8 時 ・ 第 9 時	表 現 を 実 高 践 め す る ・	○1年生におもちゃの作り方や遊び方をわかりやすく説明し，おもちゃを作って楽しく遊ぶ。《TT学習》 ・グループ毎に作り方の説明 ・興味のあるおもちゃを作って遊ぶ ・感想交流	○わからないところは，聞いたり，答えたりしておもちゃを作らせる。 話聞：おもちゃの作り方や遊び方を1年生にわかるように工夫して話している。（説明・自己評価表） 言：丁寧な話し方をしている。 （話し方）
10	振 り 返 り	○学習を振り返る。 ・話し方・聞き方の振り返り ・自己評価 ・感想をまとめる。	○録音やビデオ録画をし，振り返りに利用させる。 関：単元を振り返り，感想を書いている。 （観察・感想）

●本時の展開（本時 7 / 10）

目標

- ・順序に気をつけて話したり、聞いたりすることができる。
- ・よかった点や改善点を話し合うことができる。

●展開例

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評価・支援				
1 本時の学習課題を確認する。	一斉学習 T 1 進行 T 2 板書・発表補助 1年生に、おもちゃの作り方や遊び方をわかりやすく話せるように練習しよう。 ○「発表・聞く」目あてを確かめる。 <table><tr><td>発 表</td><td>・順序に気をつけて話そう。 ・「です、ます」を使って、最後まできちんと話そう。 ・よく聞こえる声で話そう。</td></tr><tr><td>聞 く</td><td>・大事なことを落とさないように、順序に気をつけて聞こう。</td></tr></table>	発 表	・順序に気をつけて話そう。 ・「です、ます」を使って、最後まできちんと話そう。 ・よく聞こえる声で話そう。	聞 く	・大事なことを落とさないように、順序に気をつけて聞こう。	関：1年生におもちゃの作り方を進んで教えようとしている。 (態度) 話聞：順序を工夫して話したり、聞いたりしている。(説明) ○順序を表す言葉を確認させる。 話聞：説明を聞いて、よいところを指摘したり、アドバイスをしたりしている。 (よかったよカード) ○説明ルールの観点を確認させ、アドバイスするように助言する。 関：互いのよさや改善点をみつけ次に生かそうとしている。(態度) ○「よかったよカード」を再度見るように助言する。
発 表	・順序に気をつけて話そう。 ・「です、ます」を使って、最後まできちんと話そう。 ・よく聞こえる声で話そう。					
聞 く	・大事なことを落とさないように、順序に気をつけて聞こう。					
2 グループで練習する。 (ワークシート P.121 参照)	グループ学習 T 1 , T 2 観察, 個別指導 ○指導するグループを分担し、児童個々の支援を行う。					
3 ペアーグループで練習し合う。 ○「よかったよカード」	○表現方法の異なるグループ同士をペアーとする。 ○よかった点、アドバイスしたい点等を「よかったよカード」にまとめさせる。					
4 グループで練習する。	○「よかったよカード」を参考にし、よりよい発表となるように話し合いを行わせる。					
5 今日の学習を振り返り、話し合う。 ○1年生への発表に向けて よかった点、改善点	一斉学習 T 1 進行 T 2 発表補助 ○目あてに返って、自己評価させる。					